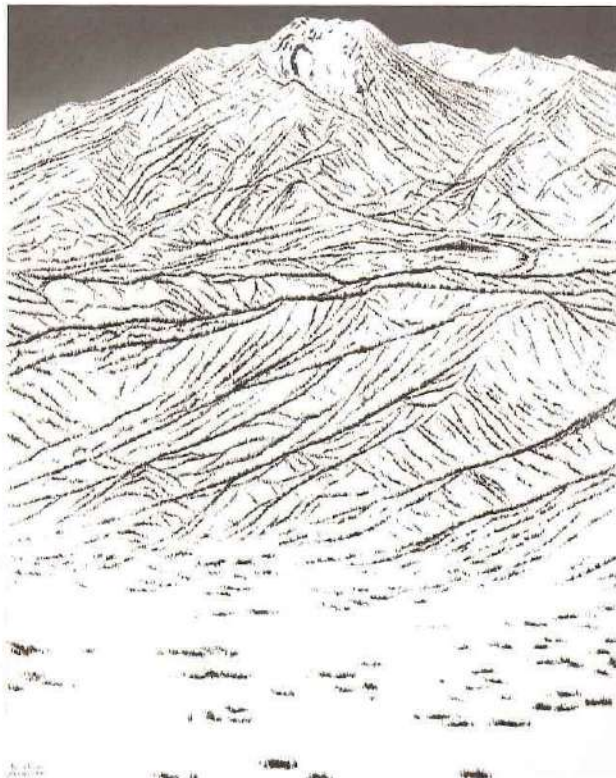


富岡 惣一郎 没後 30 年

トミオカホワイトの世界



《妙高山A》F30 / 1976年



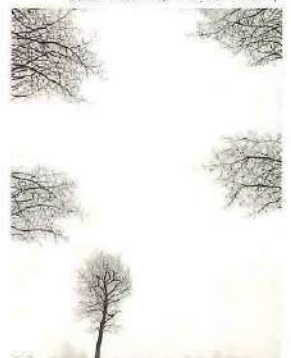
《星・BLACK》F100 / 1993年



《永遠の流れB》F100 / 1962年



《雪国・早春・野》F120 / 1990年



《早春・桜セントラルパーク》F50 / 1970年

今年は、富岡惣一郎（1922-1994）没後 30 年にあたります。

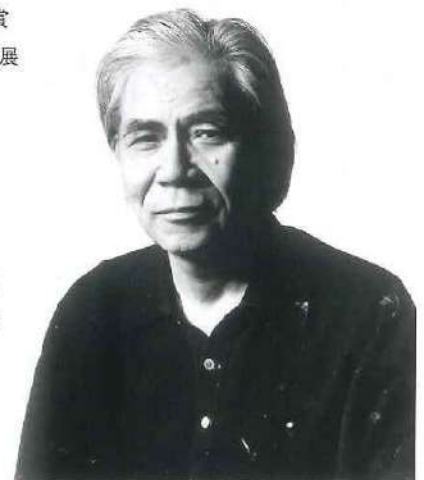
上越市生まれの富岡が 40 年にわたる画業において追求したものは、独創的な白の世界でした。1965 年に渡米した際、国籍や風土性から生まれる独自の美学とそれを表現する技術がなければ国際的に通用する作家になれないと指導を受けます。そこで富岡がテーマに選んだものは雪でした。

白と黒を基調とした作風で表現する中、白油絵の具は必要不可欠でした。しかし、当時の絵の具は黄変・亀裂・剥離が起こり大きな壁となります。諦めきれない富岡は絵の具を開発し問題を克服します。その執念は雪国人の忍耐強さからきているものなのかもしれません。また、独自の絵の具“トミオカホワイト”の白は、どこか温かみを感じられます。それは雪国を愛した富岡だからこそ作ることができた色なのでしょう。

本展では、様々なモチーフと富岡が残した言葉とともに画家の軌跡を紹介いたします。トミオカホワイトの世界を楽しみながら、好きな作品を見つけていただければ幸いです。

富岡 惣一郎 略歴

- 1922 新潟県高田（現上越市）に生まれる
- 1953 第 17 回新制作展 入選
- 1961 第 25 回新制作展 新作家賞受賞
- 1962 現代日本美術展 第 1 回コンクール賞受賞
第 26 回新制作展 協会賞受賞
- 1963 サンパウロ国際ビエンナーレ展
近代美術館賞受賞
- 1965 三菱化成工業退社
～ 72 年ニューヨーク居住
- 1984 東郷青児美術館大賞受賞
- 1989 日本政府専用機内
壁画デザインに作品 4 点採用
- 1990 トミオカホワイト美術館開館
- 1994 没 享年 72 歳



- 関越自動車道六日町 IC から車 15 分
- 大和スマート IC から車 18 分
- 上越新幹線浦佐駅からタクシー 20 分
- 上越線五日町駅からタクシー 10 分
（上越新幹線浦佐駅より在来線乗り換え下り方面）
- 上越線六日町駅からバス 20 分
（山口行きまたは八海山スキー場行き乗車、上乗車下車 3 分）

雪文化3館

- 十日町市博物館 ■ 鈴木牧之記念館
 - 南魚沼市トミオカホワイト美術館
- 各館で、雪と人との関わりやす新潟県特有の文化を紹介しています。
巡観することで、雪への理解と愛着が一段深まります。

富岡惣一郎 トミオカホワイトの世界
総引き 20%OFF
（有効期間）
2024年 11月19日（水）
まで